



大地震に備える準備を！



トイレ対策編

トイレ対策が、運命の分かれ道。



災害用のトイレを 備えて安心！



暮らしに欠かせないものの一つに「トイレ」があります。
洗浄レバーをひねるだけで汚物を流せる便利なものです。
人間は、平均1日5回程度トイレに行くと言われています。

1日なら食事は我慢できてもトイレは我慢できないものです。

しかし、災害時は水洗トイレが使えないことも。

これまでの災害でも、トイレに行く回数を減らすために水分摂取、食事を控えたことによる
災害関連死が発生した例があります。

災害時、トイレに困らないように、携帯トイレは1人1日5回分を「最低3日分、できれば
7日分」備蓄しましょう。

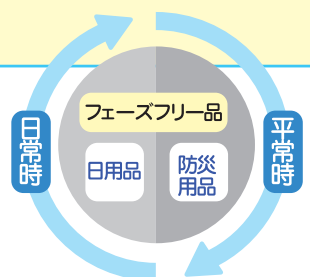
詳しくは2面で！



〔これからの\\防災\\を考える〕



「無理なく・無駄なく備える」ことで防災も持続可能な取組となります。また、平時と有事を分けず（フェーズフリー）普段使うもの、消費するものを見直すことにより、平時にも役立ち有事にも備える事ができ、生活の質も向上するのではないのでしょうか。



知っておこう かわさき防災アプリ



「かわさき防災アプリ」では、各種ハザードマップや避難情報を簡単に確認することができます。様々な災害から身を守るためにインストールをお願いいたします。



Android



ios

災害時のトイレの使用、ちょっと待って!

(必ず、排水管を確認しましょう)

流す前に確認!



大地震が発生すると建物内の排水管が壊れる可能性があります。水が出るからといって点検をせずにトイレを使用すると、建物内の低い場所から汚水があふれる恐れがあります。必ず、排水管の状態や管理組合等が決めたルールを確認してからトイレを使用しましょう。また、確認できるまでは携帯トイレを使用しましょう。また、集会室(1階に限る)、管理人室のトイレが災害時に利用可能か普段から調べておきましょう。

集合住宅

- 敷地周辺のマンホールに異常がないか確認する。
- 下の階から下水が使用できるか確認する。
- 全ての住戸の確認が終わったらトイレの使用が可能です。



携帯トイレの備蓄について詳しくは

一戸建て住宅

- 住宅内にある汚水ますの蓋をマイナスドライバーで開ける。
- トイレから水を流す。
- 流れてきた水が汚水ますに溜まったままにならないか確認する。



【豆知識】災害用トイレの種類も色々

災害用トイレといってもタイプは様々で、便座に袋を被せて排泄後、凝固剤で固めるものや、予め凝固剤がシートと一緒にになっているもの、持ち歩きタイプのもの、便座を備えるものがあります。ご家庭のスタイルにあったものを準備し、使いやすいものを災害用備品として備えましょう。また、水が出ないことを考えウェットティッシュやトイレットペーパー、携帯トイレの袋を掛ける前に便座を上げ便器に被せるポリ袋、使用後の携帯トイレを一時保管する場所や蓋つきの箱などを用意しておきましょう。

携帯トイレ (便座がないもの) 便器取り付けタイプ

備蓄に便利な袋タイプ。自宅の便器に設置して使えます。
※屋外でも使えるコンパクトで持ち運びに便利な持ち歩きタイプもあります。



簡易トイレ (便座があるもの)

便器が壊れた場合に便利です。



トイレと一緒に備えておきたいモノたち

トイレットペーパー

1人当たりの消費量、1週間で1ロール程度を目安に備蓄しておきましょう。



ランタン ヘッドライト

両手をふさがずに使用できるライトが必要です。



ゴミ袋

一般家庭用のゴミ袋(45ℓ)が適しています。



ウェットティッシュ ペーパータオル

断水で手が洗えない時に備えておくとう便利です。



フェーズフリー • 備えない防災

(フェーズフリーのすすめ)



ヘッドライトで安全な避難・清潔なトイレの使用を

登山やランニングをする方は、ヘッドライトをお持ちではないでしょうか。ヘッドライトは手持ちの懐中電灯とは違い両手が空くので、安全な避難行動をとる妨げになりません。災害時に停電が起こると恐らくトイレは真っ暗になってしまいますが、ヘッドライトがあることでトイレをスムーズに、そして清潔に使用することができます。いつ災害が起きてもいいように、ヘッドライトのバッテリーはフル充電状態にしておくことや、乾電池式の場合は、電池の備蓄を心がけましょう。



「トイレの備蓄」について動画公開中!

「川崎市ぼうさいチャンネル」で防災啓発動画を公開しています!
今回特集した「トイレの備蓄」についての動画も公開していますので、ぜひご覧いただき、チャンネル登録をお願いいたします!



詳しくはこちら



防災ポータルサイト



備える。かわさきマガジン

発行: 川崎市危機管理本部危機管理部
☎ 044-200-2894
〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地
編集: 株式会社産通

本マガジンHPはこちら



公式SNS
フォローしてね!

X(旧Twitter) ▶
@Kawasaki_bousai

